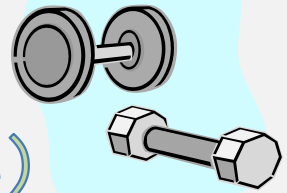


『生きている』金属

～電子顕微鏡による格子欠陥の研究

荒河 一渡 准教授

(島根大学総合理工学研究科)



鉄を中心とする金属は、車やビル、橋、発電所などを支える構造材料としてなくてはならないものです。金属の内部を電子顕微鏡で覗いてみると、まるで生きてるように、乱れが起こって動いていることがわかります。ここで捉えている乱れとは、原子の並びの乱れ(格子欠陥)で、金属の強さを決めてしまうとても大事な要素です。今回は、原子の並びが見られる電子顕微鏡ってどんな顕微鏡なのか?、電子顕微鏡を使って格子欠陥の何がわかるのか?といったことを易しく講義します。

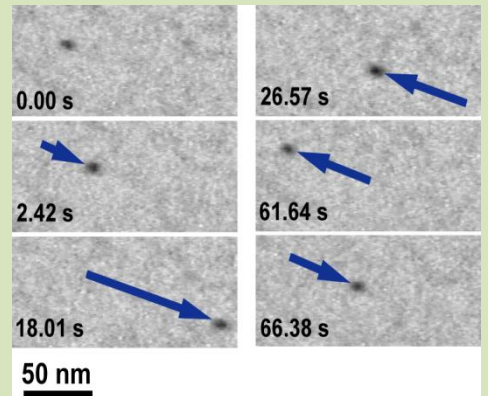


図: 電子顕微鏡で捉えた、鉄の中での格子欠陥の動き

日時 平成26年12月22日(月)

14:00～15:30

場所 くにびきメッセ 5階大会議室

松江市学園南一丁目2番1号 TEL 0852-24-1111



定員 80名
参加費 無料

◆申込み・問合せ先◆

島根大学サイエンスカフェ世話人 板村 裕之(生物資源科学部教授)

島根大学研究協力課 山砥・錦織

TEL:0852-32-9727 FAX:0852-32-6488 e-mail:rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp

★お申込みの際は、氏名・住所・電話番号をお知らせください。

